

■ 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

「交易」とは互いに品物の交換や売買をすることを言います。(1) ある国に狩猟中心の生活をしているA部族と、農業中心の生活をしているB部族がいるとします。A部族は自分たちが狩猟で得た獲物を、ある木の下に置いて姿を消します。(2) その木の下にB部族がやって来てこれを受け取り、そこに代わりの品となる農産物を置いて去ります。しばらくしてA部族がそこにやって来てその農産物を受け取ります。(3) A部族とB部族は互いに顔を合わせず、言葉を交わすことなく品物を交換することができま すね。このような交易の方法を「沈黙交易」と言います。(4) 、現代社会に生きる我々 がこのような方式の「交易」を行っているでしょうか。答えはノーです。(5) 我々 には「お金」という交換の手段があるからです。現代社会に生きる我々はお金を使うこと によって、会ったこともない人が作った農作物や、話したこともない国の人が獲った魚を 手に入れることができるのです。

ア こうすることで イ さて ウ なぜなら エ 仮に オ やがて

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～ロから選び、記号で書き入れ ましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

心身二元論という考えがあります。(6) 精神(心)と身体を別のものと考えて、 身体は精神によって支配されるとする考えです。この考えに基づけば、精神について研究 することで、人間を理解できることとなります。(7) 心身二元論では人間を完全に 理解することはできません。(8) 心身二元論に当てはまらない場面は日常生活にい くらでもあるからです。(9) 皆さんは「気持ち沈んでいる時に身体がどことなく



重い」というようなことを経験したことがありますか。これは精神（心）と身体が密接みっせつに結びついていることの証拠です。(10) 心身二元論に基づもとづくことで科学や医学は発達しましたが、人間を正しく理解するには、精神と身体を切り離はなさずに一体のものとして捉える発想も必要なのです。

カ 確かに キでも クすなわち ケたとえば コというのも